

## Ⅱ 特別会計事業報告

平成21年4月 1日から

平成22年3月31日まで

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念である「県民総参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりと緑づくりの大切さの普及啓発に努めました。

また、4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに広報等を通じて緑の募金活動を積極的に推進しました。

更に、引き続き「緑の募金による公募事業」を広く周知し、地域における自発的な森林づくりや身近なみどりづくり、間伐材の利活用、森林環境教育などの活動を推進しました。

募金推進の環境は、世界同時不況による個人消費や雇用情勢の悪化、円高、デフレなどが進み、加えて市町村合併や長野県森林づくり県民税導入など、大変厳しい状況下でしたが、各地区緑化推進団体や市町村をはじめ多くの方のご努力により、募金総額は82,780千円と、対前年比96.1%の成果を達成することができました。

(詳細は別紙1による)

### 1 緑の募金地区事業

#### (1) 森林整備支援

森林整備に対する県民の意識の向上と理解を深めるため、森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して交付金を交付し、植栽、下刈、枝打ち、除間伐など実施した。

実施箇所 34箇所、 整備面積 100.0ha

#### (2) 森林整備講演会・研修会等

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係わる森林の役割等を周知させるため、各地区で行われた講演会・研修会の開催に要する会場使用料、資料代、資材購入、講師謝金、傷害保険等の経費及び山火事防止の広報活動、松くい虫予防活動等に交付金を交付した。

実施箇所 20箇所、 参加人員 1,403人

#### (3) 学校緑化

学校校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木や作業用具の購入、指導者謝金等の経費に交付金を交付した。

実施箇所 6箇所、 苗木本数 2,490本(モミ、コナラ、ヒノキ、メギ等)

#### (4) 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購

入、指導者謝金等の経費に交付金を交付した。

実施箇所数 199箇所 苗木本数 7,274本（ドウダンツツジ、ヤマサクラ、サツキ、モミジ、レンゲツツジ等）

(5) 苗木配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを推進するため、県下各地で緑化木頒布会等が開催され、苗木等の購入経費に交付金を交付した。

苗木配布箇所数 74箇所 配布本数 59,519本（ドウダンツツジ、ソメイヨシノ、ハナミズキ、ヤマモミジ、サツキ、ヒノキ等）

(6) 植樹・育樹祭等行事

森林づくりに対する意識や緑を守り育てる緑化意識の高揚に努め、積極的に緑づくりへの参加を促進するため、地区緑化推進団体や、市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催に必要な経費に交付金を交付した。

植・育樹等行事 23会場 苗木本数 19,847本（カラマツ、サワラ、ヒノキ、コナラ、サクラ、ドウダンツツジ、モミジ、ナナカマド等）

(7) 林業関係コンクール等の開催

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等、県下7会場で行われ、その開催に係わる経費に交付金を交付した。

(8) みどりの少年団育成

次代を担う少年たちを自然とのふれあいを通じて、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るい子供達に育てるため、県下177団（新規結成1団）のみどりの少年団が実施した森林・環境緑化等の学習実践活動に対し、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに地区事業として実施した少年団の実践活動に対して交付金を交付した。

また、次の交流集会に参加した。

\*7/29～7/31 第20回緑の少年団全国大会（京都府）

県代表少年団 松本市奈川小学校みどりの少年団 3名(引率者含む)

\*8/3～8/4 長野県緑の少年団交流集会（塩尻市）

参加者 18団 104名(引率者含む)

## 2 緑化推進啓発宣伝

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、テレビ等によるPRを「緑化推進特別強調月間」（4月1日～5月31日）中に「広げよう 緑は地球の宝物」のテーマで行った。

・新聞広告掲載日等 4月1日（朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、中日新

聞、リンケイ新聞)

・テレビCM 4/1~4/7・4/28~5/4 (28回放送・契約者：長野朝日放送)

- ・街頭募金 5月4日(みどりの日)  
長野駅前他市内 8箇所において、高校生、協賛・協力団体の皆さん  
51名の協力を得て街頭募金活動を行った。  
また、各地区緑化推進団体もそれぞれ街頭募金を実施した。
- ・着胸キャンペーン  
緑の羽根、ピンバッジ着胸について4月1日高校生他で、知事、副知  
事に依頼した。

### 3 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行った。

### 4 募金活動推進

募金活動の円滑な推進・適正化を図るため、県、県現地機関、地区緑化推進団体等による合同会議を12月17日長野市において開催し、各地区からの要望や次年度の事業方針などについて協議した。

### 5 緑の募金公募事業

特定非営利法人及び募集要領の要件を満たす団体が、自発的に地域や社会ニーズに基づいた環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を推進していただくため、「緑の募金」を活用した公募事業を募集したところ、26団体から4,932千円の応募があり、運営協議会等で審査を行い1事業につき20万円を限度に、26団体に総額4,178千円の交付金を交付した。

(詳細は別紙2による)